

政務  
活動費

# 不正の徹底糾明 抜本的改革を

「1年間で日帰り出張195回」などの”号泣県議”に続いて、「夫婦で出張」「温泉出張し放題」（自民県議）、「違う領収書をコピーして提出」（別の自民県議）など、政務活動費の不正支出疑惑が後を絶ちません。

日本共産党は、県議会としてこれらの不正・疑惑を徹底糾明することを強く求めるとともに、全国の都道府県のなかでも透明度の低い政務活動費の抜本的改革に奮闘しています。

集团的  
自衛権

# 「海外で戦争する国」 づくりを許しません

集团的自衛権の行使を認めた安倍政権。従来の憲法解釈を大きく変え、日本が武力攻撃されてもいないのに、海外で他国の戦争に参加することを認めるものです。

「海外で戦争する国」「若者が戦場に送られ、殺し、殺される国」へ踏み出しました。私たちはこの道を絶対に許さず、ストップさせるためにがんばります。

さらに消費税の連続増税、原発推進、年金の連続引き下げ…暴走を続ける安倍政権は退場してもらいましょう。



集团的自衛権行使＝「海外で戦争する国」づくりはストップを（先頭右からきだ、西市議－6月20日）



6月議会で議案に対する意見表明（6月11日）



子育て支援の充実求め奮闘。対市交渉前の集会で。（右から西市議、きだ、左端は松本市議－5月14日）

きだ結 県会だより 2014夏季号

イノシシ被害問題特集